

## 1996年度社会学コース学事報告

1996年

4. 1

[学部・大学院担当教員]

専任教員は、北川隆吉・皆川勇一・児島和人・玉水俊哲・米地實・柴田弘捷・宇都榮子・広田康生の8教授と嶋根克己助教授の9名。このほかに、本年度外部よりお出でいただいた兼任講師の先生方は、赤川学（社会統計法）、青木章之介（演習2年次、社会学）、岩城完之（現代社会意識論特講（院））、太田由加里（社会学特殊講義Ⅲ）、小川直之（民俗学）、加納弘勝（社会学特殊講義Ⅰ、Ⅴ、第三世界社会研究特講（院））、中筋直哉（社会史、社会学）、橋本淳一（社会学）、平野敏政（家族社会学、社会学、現代家族論特講（院））、松本由紀子（社会統計法）、安江孝司（社会学思想史社会学）、山田和子（社会学特殊講義Ⅷ）、の諸先生。学内の先生方で、鐘ヶ江晴彦（生涯学習論特講（院））、澤野徹（社会思想史）、の2先生にもご担当いただいた。

社会学コース所属の学生は2年次58名、3年次71名、4年次以上97名の計226名（1996. 4. 17現在）。

大学院社会学専攻修士課程1年生2名、2年生以上10名、博士後期課程1年生2名、2年生1名、3年生2名。

- |               |   |
|---------------|---|
| 4. 1 - 7. 27  | 前期授業期間  |
| 4. 5          | 学部入学式   |
| 4. 8          | 大学院入学式  |
| 7. 29 - 7. 31 | 嶋根克己社会調査論・実習実施。大学生生活と卒業後の進路に関する調査。伊勢原セミナーハウス              |
| 8. 27 - 8. 29 | 宇都榮子担当社会調査論・実習実施。居宅老人の生活と支援網についての面接調査。東京都大島町              |
| 9. 9 - 9. 11  | 広田康生担当社会調査論・実習実施。エスニシティの生活と意識に関する調査。神奈川県横浜市               |
| 9. 9 - 9. 12  | 米地實担当社会調査論・実習実施。村落生活の統合性感得のための聞き取り調査。東京都利島村               |
| 9. 9 - 9. 12  | 柴田弘捷担当社会調査論・実習実施。県地方事務所、職業安定所、工場でのインタビュー、資料収集、工場見学。長野県伊那市 |
| 9. 10 - 9. 12 | 皆川勇一担当社会調査論・実習実施。千葉県小見川町現地調査。千葉県小見川町                      |
| 9. 11 - 9. 14 | 玉水俊哲担当社会調査論・実習実施。地域社会の変容と住民生活についての調査。福島県白河市               |
| 9. 12 - 9. 14 | 北川隆吉担当社会調査論・実習実施。工業化の進展と住民生活の変容についての調査。神奈川県相模原市。          |
| 9. 12 - 9. 14 | 児島和人担当社会調査論・実習実施。ジェンダーとメディアに関する調査実習とその検討。箱根セミナーハウス        |

- 9. 19 - 1. 31 後期授業期間
- 10. 5 大学院修士課程第1期入学試験
- 11. 2 大学院修士課程社会人入学試験
- 12. 16 卒業論文提出最終日

1997年

- 1. 8 1996年度専修大学社会学会総会および大会開催
  - 1. 開会の辞
  - 2. 会長挨拶
  - 3. 総会 96年度事業報告、会計報告、その他
  - 4. 卒業論文報告
    - ・全体講評 高木俊之（博士課程1年）
    - ・伊藤誠（北川ゼミ）
      - 「産業化の空洞化の現状と問題点～相模原市周辺での実態分析～」
      - コメント 桑原敬一（修士課程1年）
    - ・小田切千波（宇都ゼミ）
      - 「24時間在宅介護の全国的展開の可能性について」
      - コメント 蔡瓊瑤（修士課程1年）
    - ・五十嵐俊之（嶋根ゼミ）
      - 「線と面による構成～自明的生活と社会の一般性の関係～」
      - コメント 星直子（博士課程1年）
  - 5. 閉会の辞
- 1. 23 - 1. 29 卒業論文面接実施
- 1. 10 修士論文提出日
- 2. 5 文学部人文学科入学試験
- 2. 7、8 大学院修士論文口述試験
- 2. 26 大学院修士課程第2期・博士後期課程入学試験
- 3. 10 社会学コース専任教員、兼任教員懇談会開催
- 3. 22 学部卒業式
- 3. 22 『専修社会学』第9号発刊
- 3. 25 大学院学位記授与式